

取組方針

- ・SDGsの推進
- ・COVID-19への対応
- ・新しい需要への対応
- ・インバウンドへの対応



持続可能な地域づくりへの
貢献
日本の国立公園の多様性の
発信

重点取組の抜粋

新しい需要

- ・乗鞍高原のワーケーションビレッジ化



保護と利用

- ・ツアー参加費、宿泊費の一部を保護活動に回す等の取組を増加

ポータルサイト

- ・作成済「南部地域」ポータルサイトの協働型運営体制を確立
- ・リアルタイムの情報発信



ハードAT

- ・山小屋文化と3,000m級のハードアドベンチャーによる日本ならではの登山文化を魅せるATツアーを実施



世界水準の観光地の実現

- ・公園の核心部となる上高地と沢渡・平湯で連携強化によりサービス・ホスピタリティ等を上質化



サステナブルツーリズム

- ・脱炭素、脱プラなど、GSTCが求める要件も踏まえ、現状把握の上、目指す方向性を整理し、各種取組を実施



数値目標

<利用の質>

- ・消費額/人 **30%増**
- ・宿泊日数 **4.5泊 (1泊増)**
- ・国立公園認知度 **80%**

<利用者の数>

- ・総利用者数 **10%増**
- ・訪日外国人利用者数 **46万人** (2019時点/独自推計の実績値) の早期回復
- ・閑散期の底上げによる利用平準化

2025プログラムのビジョン

松本-高山Big Bridge構想の実現



地域の自然・文化・歴史を体感できるルートとしてブランディング。基盤整備等により長期滞在も実現。起終点から伸びる多様なルートを設定